

科目名	国語表現		単位数	2単位	学年	3年	コース	進学理系	必修
教科書	国語表現(大修館書店)								
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・国語表現 基礎練習ノート・大学入試国語頻出問題1200 四訂版・ちくま文学講読上級編								
授業の到達目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的思考力や共感する力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しむ態度を育み、言葉を通して他者や社会に積極的に関わる態度を持つ。								
授業内容・進め方	言葉や文章の正しい使い方、原稿用紙の書き方などの基本的な修辞技法や表現技法を、教科書や副教材を用いて学び、適宜実践していく。志望理由書、小論文等の書き方、面接の際の言葉遣いなどについて演習を行う。基礎力を測る小テスト等も行う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト等								
	【思考・判断・表現】 定期考査・発表の内容と過程・レポート・小論文等								
	【主体的に学びに向かう態度】 振り返り・相互評価・行動観察等								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:4:1を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	【話す・聞く力】自己紹介・他己紹介・聞く力をつける・身振り手振り・スムーズな会話						
			【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・発表する						
			【言語運用力】言葉の基礎・表現のコツをつかむ						
	5月	考査実施	【評論・随想】「ニワシドリの庭」(加藤幸子)						
			【話す・聞く力】自己分析・他己分析をして自分史を作る・人前で話す						
	6月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・スピーチする						
			【書く力】書いて説明する・書いてアピールする・論理的に正しく書く						
			【評論・随想】「知識の扉」(港千尋)						
7月	考査実施	【話す・聞く力】自己PRを作る・話し合いをする							
(2学期)	9月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・ディスカッションする						
			【書く力】読む側を意識して小論文を書く・分析する						
			【詩歌】永訣の朝(宮沢賢治)・旅情(石垣りん)・死にたまふ母(斎藤茂吉)・俳句						
	10月	考査実施	【言語運用力】模擬面接・敬語と言葉遣い・語彙を豊かにする						
	11月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・議論する						
			【書く力】小論文演習						
12月	考査実施	【小説】「オデュッセイア」(恩田陸)							
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
	3月	考査不実施							

科目名	数学Ⅲ	単位数	5単位	学年	3年	コース	進学理系	選択
教科書	数研出版 数学Ⅲ							
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅲ+C							
授業の到達目標	関数・極限・微分・積分の処理を習得する。高校数学全体の有機的な繋がりを理解し、各問に対する最善の解法を導ける、揺るがない数学力を習得する。							
授業内容・進め方	1. 関数 2. 極限 3. 微分法 4. 微分法の応用 5. 積分法とその応用 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題							
	【思考・判断・表現】 定期テスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		第1章 関数					
	5月	考查実施	第2章 極限		第1節 数列の極限			
	6月				第2節 関数の極限		第3章 微分法	
	7月	考查実施			第1節 導関数		第2節 いろいろな関数の導関数	
(2学期)	9月		第4章 微分法の応用		第1節 導関数の応用			
	10月	考查実施			第2節 いろいろな応用		第4章 積分法とその応用	
	11月				第1節 不定積分		第2節 定積分	
	12月	考查実施			第2節 積分法の応用		第2節 積分法の応用	
(3学期)	1月							
	2月							
	3月							

科目名	数学C	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学理系	必修
教科書	数研出版 数学Ⅲ							
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅲ+C							
授業の到達目標	ベクトル・複素数平面・式と曲線の処理を習得する。高校数学全体の有機的な繋がりを理解し、各問に対する最善の解法を導ける、揺るがない数学力を習得する。							
授業内容・進め方	2. 空間のベクトル 3. 複素数平面 4. 式と曲線 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題							
	【思考・判断・表現】 定期テスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		第2章 空間のベクトル					
	5月	考查実施	第2章 空間のベクトル					
	6月		第3章 複素数平面					
	7月	考查実施	第3章 複素数平面					
(2学期)	9月		第4章 式と曲線		第1節 2次曲線			
	10月	考查実施	第2節 媒介変数表示と極座標					
	11月		第2節 媒介変数表示と極座標					
	12月	考查実施	総合演習					
(3学期)	1月							
	2月							
	3月							

科目名	数学研究		単位数	2単位	学年	3年	コース	進学理系	選択
教科書	日本数学検定協会 実用数学技能検定要点整理2級								
副教材・参考書									
授業の到達目標	数学技能検定の問題集を用いて、基礎的な入試問題、特に大学入学共通テストの問題に対応できるようにする。発展的な入試問題を理解するための確固たる基礎力を定着させ、これまで学んできた数学の構造的な理解の構築をする。数学技能検定の参考書を活用し、2級に合格することも本授業の目標の1つとする。								
授業内容・進め方	数学ⅠAⅡBCの基礎的な入試問題に関して、演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。また、大学入学共通テストの実践的な演習などにも取り組む。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題								
	【思考・判断・表現】 定期テスト								
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	数学Ⅰ 総合演習						
	5月	/	数学Ⅰ 総合演習						
			考査実施						
6月	/	数学A 総合演習							
7月	/	数学A 総合演習							
		考査実施							
(2学期)	9月	/	数学Ⅱ 総合演習						
	10月	/	数学Ⅱ 総合演習						
			考査実施						
11月	/	数学BC 総合演習							
12月	/	数学BC 総合演習							
		考査実施							
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
3月	/								

科目名	物理		単位数	5単位	学年	3年	コース	進学理系	選択	
教科書	物理（実教出版）									
副教材・参考書	アクセスノート(実教出版)									
授業の到達目標	物理的な事物、現象についての関心や探究心を高め、科学的に探究する能力を育てるとともに、基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。									
授業内容・進め方	1、物理の基本的原理を実際の物理現象と関連づけさせ、生徒の自然への興味、関心を高める。 2、物理実験を通して、結果からの考察を追究させ、生徒の物理学的探究心を深める。 3、身近な物理現象について意見交換をさせ、テーマについて考えさせることで科学的思考力を高める。									
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。									
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、探究課題等により評価する。									
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、提出物等により評価する。									
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4：4：2を原則とする									
授業スケジュール										
(1学期)	4月	/	第1章 平面内の運動							
			第2章 剛体							
			第3章 運動量の保存							
	5月	考査実施	第4章 円運動と万有引力							
			第2編 熱と気体							
	6月	/	第1章 気体のエネルギーと状態変化							
			第3編 波							
	7月	考査実施	第1章 波の伝わり方							
			第2章 音の伝わり方							
	(2学期)	9月	/	第3章 光						
				第4編 電気と磁気						
		10月	考査実施	第1章 電場						
第2章 電流										
第3章 電流と磁場										
11月		/	第4章 電磁誘導と電磁波							
	第5編 原子 第1章 電子と光									
12月	考査実施	第2章 原子と原子核								
(3学期)	1月	/								
	2月	/								
	3月	考査不実施								

科目名	生物	単位数	5単位	学年	3年	コース	進学理系	選択
教科書	生物（数研出版）							
副教材・参考書	サイエンスビュー 生物総合資料(生物基礎で使用したもの)、リードα							
授業の到達目標	生物や生命現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験等を行い、生物学の基本的な概念や、原理・法則の理解を主体的・協働的に深め、科学的な自然観を養う。							
授業内容・進め方	ワークと資料集を使い、教科書を補いながら学習する。また、必要に応じてグループワークや発表、実験・観察を行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査をもとに評価する。							
	【思考・判断・表現】定期考査・レポート等をもとに評価する。							
	【主体的に学びに向かう態度】授業・定期考査の振り返りをもとに評価する。							
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4：4：2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月		授業の説明 第1章 生物の進化					
	5月	考査実施	2章 細胞と分子					
	6月		3章 代謝					
	7月	考査実施	4章 遺伝情報と発現と発生					
(2学期)	9月		5章 動物の反応と行動					
	10月	考査実施	6章 植物の環境応答					
	11月		7章 生物群集と生態系					
	12月	考査実施						
(3学期)	1月							
	2月							
	3月	考査不実施						

科目名	化学研究	単位数	3単位	学年	3年	コース	進学理系	必修
教科書	化学(実教出版)							
副教材・参考書	アクセスノート 化学 新課程版(継続使用)、フォトサイエンス 化学図録(継続使用)、							
授業の到達目標	化学基礎・化学の内容における総合的な演習を行い、深い思考力・判断力を身につける。また、学んだ知識を活用して実験操作・情報整理を行い、事象を主体的理解し、それを表現する力を身に着ける。							
授業内容・進め方	2年次より継続して化学に関する演習・解説を行う。適宜、問題集を用いた共通テストの対策演習を行うことで実践的な解法を身に付けていく。また必要に応じて演習実験や生徒主導による授業・実験・グループワーク等を取り入れ、生徒の主体的な理解、表現力の向上を図る。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。							
	【思考・判断・表現】定期考査、提出課題、探究課題等により評価する。							
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、レポート課題等により評価する。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	ガイダンス 授業と評価・化学概論					
			4章 有機化学		2節 不飽和炭化水素			
	5月	考査実施	3節 アルコールとエーテル					
			アルデヒドとケトン					
	6月	/	カルボン酸とエステル					
			1節 有機化合物の構造式の決定					
	7月	考査実施	4節 芳香族化合物					
(2学期)	9月	/	3章 無機物質		1節 周期表 ~ 3節 金属元素			
			(グループワーク・プレゼンテーション)					
	10月	考査実施	無機物質 問題演習					
			5章 高分子化合物		1節 高分子化合物 ~ 3節 合成高分子化合物			
	11月	/	(グループワーク・プレゼンテーション)					
			高分子化合物 問題演習					
12月	考査実施							
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
	3月	考査不実施						

科目名	体育(男子)	単位数	3単位	学年	3年	コース		進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)										
副教材・参考書											
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。										
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。										
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。										
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。										
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする										
授業スケジュール											
				《体育》男女別習 2単位				《選択体育》男女共習 1単位			
(1学期)	4月	/	体づくり運動				選択①	オリエンテーション			
			新体力テスト					着装・礼法・所作、面・小手・胴			
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム					剣道基本技稽古法(基本1～基本9)			
			ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム					面・小手・胴			
6月	/	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム				連続技・体当たり技					
						連続の打ちこみ					
(2学期)	9月	/	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム				互角稽古				
			サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム				試合				
	10月	考査不実施	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム				オリエンテーション				
			サッカー ゲーム				基本姿勢・動作				
11月	/					現代的なリズムのダンス					
						テーマに合わせた動き					
12月	考査不実施					リズムダンスの創作					
						グループ分け、リズム、テーマ決め					
(3学期)	1月	/					フレーズづくりと構成				
							グループ発表				
							オリエンテーション				
(3学期)	2月	/					技の名称や行い方 運動観察の方法				
							切り返し系				
							回転系				
(3学期)	3月	/					条件を変えた技				
							発展技				
							発表会				
※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。											

科目名	体育(女子)	単位数	3単位	学年	3年	コース		進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)										
副教材・参考書											
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。										
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。										
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。										
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。										
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする										
授業スケジュール											
				《体育》男女別習 2単位				《選択体育》男女共習 1単位			
(1学期)	4月	/	体づくり運動				選択①	オリエンテーション			
			新体力テスト					着装・礼法・所作、面・小手・胴			
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム					剣道基本技稽古法(基本1～基本9)			
			ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム					面・小手・胴 連続技・体当たり技 連続の打ちこみ 互角稽古 試合			
(2学期)	6月	/	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム				選択②	オリエンテーション			
	7月	考査不実施	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム					基本姿勢・動作			
			サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム					現代的なリズムのダンス テーマに合わせた動き リズムダンスの創作 グループ分け、リズム、テーマ決め フレーズづくりと構成 グループ発表			
(3学期)	9月	/	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム				選択③	オリエンテーション			
	10月	考査不実施	サッカー ゲーム					技の名称や行い方 運動観察の方法 切り返し系 回転系			
	11月	/						条件を変えた技 発展技 発表会			
(3学期)	12月	考査不実施					器械運動				
	1月	/									
	2月	/									
	3月	/									
※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。											

科目名	デザイン基礎		単位数	2単位	学年	3年	コース	進学理系	選択
教科書	使用しない								
副教材・参考書	使用しない								
授業の到達目標	世の中にある様々なデザインを通して、デザインの理屈や理論、時代性に触れると共に、そこに存在する様々な問題解決法や整理術を学び、高校生らしい柔軟で新しい発想を構築し、提案する能力を高めることを目標とする。								
授業内容・進め方	スライド資料やWebを使い、様々なデザインの解説を交えながら、その基礎となる課題制作を行う。また、研究課題ではレポートの作成およびプレゼンテーションを行い、ファイルにまとめていくこととする。								
観点別評価の方法	【知識・技能】色彩理論、構図理論などの理解								
	【思考・判断・表現】コンセプトに基づいたデザイン表現や創意工夫								
	【主体的に学びに向かう態度】制作のみならず準備や片付けなどの積極性や他者を尊重する姿勢。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 3 : 3 : 4 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	ガイダンス(授業の流れおよび進め方)						
			デザイン概説①(明度対比および配色について)						
			基礎課題①(明度対比)						
	5月	<small>考查不実施</small>	デザイン概説②(配色とトーン)						
			基礎課題②(テーマに合わせた配色の探求)						
			デザイン概説③(レイアウトとコンポジションについて)						
	6月	/	基礎課題③(黄金比および白銀比について)						
			基礎課題④(PCを用いた幾何構成)						
			デザイン概説④(コンセプトについて)						
	7月	<small>考查不実施</small>	デザイン概説⑤(見やすいスライド作成について)						
			課題制作①(プレゼンテーション資料作成)						
	(2学期)	9月	/	デザイン概説⑤(文字のデザイン)					
課題制作②(オノマトペ)									
デザイン概説⑥(面積比と視点誘導について)									
10月		<small>考查不実施</small>	課題制作③(コラージュ①)						
			課題制作④(コラージュ②)						
			実践制作課題(ポップアップカード)						
11月		/	1, コンセプト						
			2, 制作①						
			3, 制作②						
12月		<small>考查不実施</small>	4, プレゼンテーション資料作成						
			5, 発表および振り返り						
(3学期)		1月	/						
2月	/								
3月	/								

科目名	英語コミュニケーションIII	単位数	4単位	学年	3年	コース	進学	必修
教科書	MY WAY English Communication III 三省堂							
副教材・参考書	MY WAY English Communication III ワークブックStandard /Target 1900 6訂版							
授業の到達目標	教科書の本文を通じて日常的・社会的な話題について必要な情報を整理しながら自らの考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする力を身に付ける。							
授業内容・進め方	Unit 1で「聞くこと」と「読むこと」に必要なストラテジーを学び、それに対応した発展学習をUnit 2・3で行う。言語活動を通じて本文の内容や重要表現等の理解に努め、世界の様々な事象について見聞を広める。また、初見問題や『ターゲット1900』を利用した単語テストを行い、大学受験や英検にも対応できる読解力や語彙力の強化を図る。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 英語の特徴やきまり(音声・語彙・表現・文法事項)を学び、定期テストや各テストで定着度を評価する。							
	【思考・判断・表現】情報を整理しながら英語でコミュニケーションを図る力を定期考査やリスニングテスト、パフォーマンステストで評価する。							
	【主体的に学びに向かう態度】 授業及び家庭学習での取り組み等を参考に、主体的な学習への取り組みを評価する。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =4:4:2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 1 必要な情報を聞き取る/読み取る					
			Unit 2 Lesson 1 "Priceless" Café, "Priceless" Community					
	5月	考査実施	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 2 意味のまとまりごとに理解する					
			Unit 2 Lesson 2 Nihonium - A New Element Born in Japan リスニングテスト①					
	6月	/	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 7 話の要点を理解する					
			Unit 2 Lesson 3 Tea in the Desert Climate					
	7月	考査実施	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 5 論理の展開を把握する(列挙・例示)					
Unit 2 Lesson 4 The Benefit of Origami(列挙) パフォーマンステスト①/ リスニングテスト②								
(2学期)	9月	/	Unit 2 Lesson 5 The Mysteries of English Spelling(例示)					
			Unit 1 Strategy for Listening & Reading 3 キーワードや内容語から概要を把握する					
	10月	考査実施	Unit 2 Lesson 6 New Discovery in the Nasca Lines					
			Unit 1 Strategy for Listening & Reading 4 視覚情報を利用して聞き取る/読み取る リスニングテスト③					
	11月	/	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 6 論理の展開を把握する(原因・結果)					
			Unit 2 Lesson 7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure					
	12月	考査実施	Unit 1 Strategy for Listening & Reading 8 話者や筆者の意図を推測する					
Unit 3 Lesson 9 Dog Tax パフォーマンステスト②/ リスニングテスト④								
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
	3月	考査不実施						

科目名	論理表現Ⅲ	単位数	3単位	学年	3年	コース	進学	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ 啓林館							
副教材・参考書	Vision Quest 論理表現Ⅲサブノート 5-Minute Test プロダクティブ英作文 学習ブック 桐原書店							
授業の到達目標	「論理・表現Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。							
授業内容・進め方	教科書では各レッスンのTopicを通し自分の考えをまとめ、発表する機会を持たせながら進めていく。副教材では基本文法の体系化と運用能力の定着を図り、英作文のベースの強化、表現活動につなげるための語彙力の強化を図っていく。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査、単元テスト、フレーズテスト							
	【思考・判断・表現】 定期考査、Writing 課題、パフォーマンステスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 定期考査、Writing 課題、ワークブックの活用							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4:4:2を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	Lesson 1 Friendship and improvement					
			Lesson 2 Which is better a paper or an electronic dictionary?					
			○プロダクティブ英作文 unit 1~3					
	5月	考査不実施	Lesson 3 Can you change your personality?					
			Lesson 4 How do we make decisions? ○プロダクティブ英作文 unit 4~6					
			Unit Test (Lesson 1~4) / Writing Assignments					
	6月	/	Lesson 5 Online doctor consultations					
			○プロダクティブ英作文 unit 7~9					
			○Performance Test					
	7月	考査実施	○プロダクティブ英作文 unit 10~12					
	(2学期)	9月	/	Lesson 6 Healthy lifestyle				
				Lesson 7 What do you do after school?				
○プロダクティブ英作文 unit 13~15								
10月		考査不実施	Lesson 8 Direct and indirect ways of communication					
			Lesson 9 Should we use social media					
			○プロダクティブ英作文 unit 16~18					
11月		/	Lesson 10 Are you a good user of social media?					
			○プロダクティブ英作文 unit 19~21					
			○Performance Test					
12月		考査実施	○Performance Test					
(3学期)		1月	/					
	2月	/						
3月	考査不実施							

科目名	食物と栄養	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学理系	選択
教科書								
副教材・参考書	生活学Navi 資料+成分表 2023 ビジュアルクッキング							
授業の到達目標	食生活の課題や現状、5大栄養素などについて主体的・協働的な学びを通じて、食生活の充実・向上を図る力と実践的な態度を身につける。社会人として、自立した食生活を営むための道筋を考えられるようになる。							
授業内容・進め方	食生活の課題や現状・食文化・栄養素・食品の特性・調理特性・郷土料理・献立作成などについて、必要に応じて実習・実験・グループワークを行いながら、プリントを用いて学習を行う。講義と実習を組み合わせ、理論と知識が結びつくように授業を進める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査、パフォーマンス等により評価する							
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、課題等により評価する							
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、行動観察、授業態度、提出物等により評価する							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	栄養素の種類とはたらき					
			現在の食生活の課題と現状					
	5月	考査不実施	ライフステージと調理 (食物アレルギー、介護食、離乳食など)					
	6月	/	調理実習①					
			食品の特性と調理					
	7月	考査実施	食品の加工について					
(2学期)	9月	/	日本の食文化と和食					
			調理実習② 千葉の郷土料理					
	10月	考査不実施	調理実習③ 現代の食生活の課題への対応 (ヴィーガンレシピなど)					
			栄養計算の種類と方法					
	11月	/	栄養計算を踏まえた献立作成					
			調理実習④ 自主献立をもとにした調理					
	12月	考査実施						
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
	3月	考査不実施						

科目名	情報実践	単位数	2単位	学年	3年	コース	進学理系	選択
教科書								
副教材・参考書	実教出版 令和6年度版 全国商業高等学校主催 ビジネス文書実務模擬問題集(3級) 令和6年度版 全国商業高等学校主催 情報処理検定問題集(3級)							
授業の到達目標	文書がビジネス活動の中で果たしている役割を理解し、文書作成ソフトウェアに関する知識と技術を習得させる。また、ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアを利用しながら管理分析に活用する。							
授業内容・進め方	原則実習とし、Word・Excelのアプリケーションソフトを利用し、問題集を活用して資格取得を目指す。また、プリントも配布するのでA4ファイル(クリアファイル可)を各自で用意すること。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 ・実技テストならびに検定試験							
	【思考・判断・表現】 ・実技テストならびに検定試験							
	【主体的に学びに向かう態度】 課題提出・実技成果							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	・タイピングソフトを使用したキー入力練習, タッチメソッドの習得					
			・文書作成ソフト”Word”を使用した速度入力練習(速度記入帳データの作成)					
			・表計算ソフト”Excel”の基本機能(体裁, 四則演算, グラフ)					
	5月	/	・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(合計, 平均, 最大, 最小)					
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(件数, ソート機能)					
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(端数処理, 順位付け)					
	6月	/	・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(複合条件による判定)					
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(列参照, 行参照)					
			・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出す技法(印刷の工夫)					
	7月	/	・Excel実技課題・各種情報処理検定3級					
			・各種実技試験実施					
	(2学期)	9月	/	・文書作成ソフト”Word”を使用した代表的な文書レイアウト				
・文書の構成要素と配置, 編集機能(差し込み印刷, 罫線編集)								
・情報処理検定受験								
10月		/	・ビジネス文書実務検定で用いるWord機能(ヘッダー, 校正記号, 書式のクリア)					
			・各種情報処理検定受験(※3級全員)					
			・ビジネス文書実務検定で用いるWordレイアウト(罫線の調整, 均等割り付け)					
11月		/	・ビジネス文書実務検定各級対策(筆記・速度・文書)					
			・ビジネス文書実務検定試験受験(※3級全員, 11月第4日曜)					
12月		/	・Word実技課題					
			・各種実技試験実施・各種日本語ワープロ検定試験受験(※3級全員)					
(3学期)		1月	/					
	2月	/						
3月	/							

科目名	理数探究		単位数	2単位	学年	3年	コース	特進・進学理系	必修
教科書	理数探究基礎(2年次に使用したもの)								
副教材・参考書	課題研究メソッド								
授業の到達目標	理数探究基礎で学んだ知識技能を活用し、個人で探究テーマを設定、検証を繰り返し、発表活動をすることで、教科横断的な課題設定力・課題解決力を身につける。								
授業内容・進め方	個人で探究テーマを決め、探究計画書をもとに探究活動を行う。クラスの枠を越え、物理学系統、化学系統、生物・家政学系統、情報・数学系統などの系統ごとに活動場所を分ける。1学期末に中間発表を行い、2学期に最終発表、卒業論文の作成を行う								
観点別評価の方法	【知識・技能】実験、レポートによって評価する。								
	【思考・判断・表現】実験、レポート、発表によって評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】実験、レポート、発表によって評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	○	17	理数探究テーマの設定・系統ごとの活動場所(8名担当教員)に振り分け					
		○	24	系統ごとに探究活動					
	5月	○	1	系統ごとに探究活動					
		○	8	系統ごとに探究活動 授業参観で保護者に探究内容をプレゼン					
		○	15	系統ごとに探究活動 理数探究のすすめ方(論文検索と活用)					
			22	中間考査週					
	6月	○	29	系統ごとに探究活動					
		○	5	系統ごとに探究活動					
			12	2系統合同中間発表					
		△	19短	2系統合同中間発表					
	○	26	2系統合同中間発表・中間報告書・ルーブリックの提出						
		7月		4	期末考査週				
	△		11短	探究パターンカードで振り返り 夏休みの活動計画 (希望者は高校生理科研究発表会に応募)					
	(2学期)	9月	△	4短	系統ごとに探究活動				
			11	実力テスト					
○			18	系統ごとに探究活動					
○			25	系統ごとに探究活動(高校生理科研究発表会参加希望者の発表練習)					
10月		○	2	系統ごとに探究活動					
		○	9	系統ごとに探究活動					
			16	中間考査週					
		○	23	系統ごとに探究活動					
11月		○	30	系統ごとに探究活動					
		○	6	系統ごとに探究活動					
			13	系統ごとに探究活動					
		○	20	2系統合同最終発表					
○		27	2系統合同最終発表・放課後に代表者を集め、文系の卒業探究と合同発表会						
		12月	○	4	探究パターンカードで振り返り・卒業論文・ルーブリックの提出				
備考									